

平成29年度 地方創生交付金事業事前評価

平成30年6月26日南丹市地域創生会議

「地域創生戦略のK P I達成に有効であるか」を評価

評価：①有効であった ②どちらかといえば有効であった ③どちらともいえない ④どちらかといえば有効とはいえない ⑤有効とはいえない

番号	基本目標	事業名	評価	意見等
1	1	ふるさと農業創生支援事業 (農政課)	① 3名 ② 5名 ③ 1名 ④ 0名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元調整や学習会等を通じて、農家民宿を活用した教育体験旅行に積極的に取り組むとともに、農家民宿間の連携など、地域ぐるみで都市住民を受け入れる体制も整ってきている。</li> <li>・開業数は指標値に達していないが、今後とも関係者のニーズを的確に把握し、地域資源を活用した農村ビジネスの一つとして、府市連携による支援が重要である。</li> <li>・農家レストランという定義の店は何件?</li> <li>・農家民泊開設窓口での相談はどれくらいあるのか?</li> <li>・取り組みが始まったばかりで、K P I 達成度は目標に届いていないが、成果が出ているので継続していく必要があると思います。</li> <li>・農家民宿の12軒開業は評価できる。H Pでの支援も有効と考える。</li> <li>・認知度が高まり、宿泊者が増えれば新たな開業希望者も増えていくのでは。</li> <li>・外部委託ということであるが、市内発注はしているのか。</li> <li>・ホームページ等の掲載により、魅力の発信を行い、起業者へのフォローアップの充実をはかられたい。</li> <li>・農業体験や農家民泊を希望している学校など多くあると聞いている。</li> </ul>

「地域創生戦略のK P I達成に有効であるか」を評価

評価：①有効であった ②どちらかといえば有効であった ③どちらともいえない ④どちらかといえば有効とはいえない ⑤有効とはいえない

番号	基本目標	事業名	評価	意見等
2	1	創業支援事業 (商工観光課)	① 7名 ② 1名 ③ 1名 ④ 0名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創業は、地域経済の活性化、雇用の創出に大きな役割を果たすことから、「新たなしごとの創出」にチャレンジしようとする方を積極的に支援することは、有意義な取組である。</li> <li>・創業後、早期に事業の安定化が図られるよう、事業者のニーズに応じたフォローアップ支援の展開が課題である。</li> <li>・創業が12件もあった!? H29.4月の実績値は0でしたが…</li> <li>・目標値の倍以上の成果を達成しているので需要（必要性）は高いと考える。創業後の状況も引き続き点検し、活性化につなげることも必要。</li> <li>・創業件数12件は評価できる。更に創業件数が増えるよう参加者へのアフターフォローが必要。</li> <li>・今後も期待する。</li> </ul>
3	1	むら・ひと・しごと創生事業 (定住・企画戦略課)	① 0名 ② 4名 ③ 3名 ④ 2名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定住を進めていくためには、地域を活性化し、しごとの創出に結びつく取組が必要である。実施された取組は、地域資源を生かしたもので、今後もそれぞれの地域の状況に応じて継続的な支援を進めていく必要がある。</li> <li>・事業の実施に当たっては、長期的視点だけではなく、ロードマップを作成し、可能な限り短期間に、しごとの創出に結びつく事業展開ができるよう工夫して進めることが課題である。</li> <li>・森林鍼灸院と明治鍼灸大との連携事業ですか？</li> <li>・獣肉活用方針はどこかで発表されたのか？</li> <li>・取り組みの趣旨は理解できるが、実績値が低いのが気になる。背景を点検し、今後の生かすことが必要。</li> <li>・すぐに結果が出る取組みではないため、継続した取組みが必要。</li> <li>・達成度の向上に期待したい。</li> </ul>

「地域創生戦略のK P I達成に有効であるか」を評価

評価：①有効であった ②どちらかといえば有効であった ③どちらともいえない ④どちらかといえば有効とはいえない ⑤有効とはいえない

番号	基本目標	事業名	評価	意見等
4	1	南丹市販路開拓支援事業 (商工観光課)	① 8名 ② 0名 ③ 1名 ④ 0名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・競合他社との競争が激化し、経営環境が厳しくなる中、事業者の経営の安定、持続的な成長・発展のためには、新たな需要（取引先）を開拓していくことが不可欠であり、その取組を支援する重要性は高い。</li> <li>・支援ケースに関するノウハウを蓄積し、新規取引先につながっている実績のPRにつとめ、支援件数の増加を図ることが課題である。</li> <li>・展示会出展に二の足を踏む企業多いので積極的にPRしてもらいたい。</li> <li>・成果も見られ、更なる活性化を期待する。</li> <li>・新規取引先の獲得について今後も期待する。</li> </ul>
5	2	空き家流動化対策事業 (定住・企画戦略課)	① 9名 ② 0名 ③ 0名 ④ 0名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住者用の空家不足が課題となる中、地域ぐるみでの空家掘り起こしや空家掃除作業の支援や、空家の思い出をアルバム化する事業など、地域ニーズに応じつつ、空家確保につながる事業を展開。</li> <li>・今後さらに、府市連携により、地域、空家所有者の選択肢が広がる工夫が必要。</li> <li>・実績値が好調でニーズを得た施策と思われる。</li> <li>・移住相談件数は多いが、空き家活用件数との差が気になる。</li> <li>・成果も見られ、今後の事業拡大に期待する。</li> <li>・何人移住があれば何年度には増加に転じるなど数値目標はあるのか。</li> <li>・廃棄物の処分費の補助は非常に有効であると思う。</li> </ul>

「地域創生戦略のK P I達成に有効であるか」を評価

評価：①有効であった ②どちらかといえば有効であった ③どちらともいえない ④どちらかといえば有効とはいえない ⑤有効とはいえない

番号	基本目標	事業名	評価	意見等
6	2	定住促進サポートセンター運営事業 (定住・企画戦略課)	① 7名 ② 2名 ③ 0名 ④ 0名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定住サポートセンターを核に、移住希望者が持つ課題に、一元的に対応する体制が出来ており、また、府の京都移住コンシェルジュや地域団体等と連携して、きめ細かな対応をしている。</li> <li>・都会に近い京都丹波地域の魅力を最大限に発揮するため、子育て、福祉施策等との連携や近隣市町との連携をより進めていくことが必要。</li> <li>・移住希望者にとって、初めての土地への不安解消に必要な取り組みと感じる。</li> <li>・成果も見られ、今後の事業拡大に期待する。</li> <li>・移住者数は何家族、何人か。目標は何人か。</li> </ul>
7	2	移住促進事業 (定住・企画戦略課)	① 5名 ② 4名 ③ 0名 ④ 0名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集落の教科書や地域マップづくりなど、地域の発案を大切にし、地域自らが取り組む移住者の受入体制づくりを支援している。</li> <li>・移住希望者向けの、地域の情報発信としても効果的である。</li> <li>・移住希望者への情報発信ツールとして有効と思うが、実際どれくらいの効果につながっているのかが見えにくい。</li> <li>・成果も見られ、今後の事業拡大に期待する。</li> </ul>

「地域創生戦略のK P I達成に有効であるか」を評価

評価：①有効であった ②どちらかといえば有効であった ③どちらともいえない ④どちらかといえば有効とはいえない ⑤有効とはいえない

番号	基本目標	事業名	評価	意見等
8	2	シティプロモーション推進事業 (定住・企画戦略課)	① 5名 ② 2名 ③ 2名 ④ 0名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ U I ターン者や地域団体など市民協働による動画やテーマソング作成により、南丹市の魅力を都市住民に分かりやすく伝える努力が認められる。</li> <li>・ 対外的な情報発信とともに、在住者の地域への愛着を醸成し、定住促進の効果も期待できる。</li> <li>・ より多くの視聴者をつくるため、セミナー等の効果的な活用など、より一層の工夫に期待したい。</li> <li>・ 認知度は低い。KPIの移住相談件数は数値としてはどうか。</li> <li>・ 市外に対して、どのように発信効果を高めていくのかが大切では？</li> <li>・ 成果も見られ、今後の事業拡大に期待する。</li> <li>・ 知名度を向上させるには、P R活動が必要であり、定住人口の増加につながる事に期待する。(交流人口の増加も含め)</li> </ul>
9	2	観光イベント振興事業 (商工観光課)	① 5名 ② 1名 ③ 2名 ④ 1名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観光は、成長性が高い分野であり、その効果が幅広い産業に波及することから、地域の文化・歴史・食等の魅力を発信し、観光客を集客し、交流人口の拡大を図ることは地域の活性化を図るうえで重要である。</li> <li>・ 市外からの入込み客がさらに増加するようP Rの充実・強化など、一層の工夫が課題である。</li> <li>・ 「継続して実施する」とあるが、毎回、課題を点検したり、より大きな効果につなげる検討はしているのかを知りたい。</li> <li>・ 成果も見られ、今後の事業拡大に期待する。</li> <li>・ 地域が汗を流す重要な事業であり今後も期待する。</li> </ul>

「地域創生戦略のK P I達成に有効であるか」を評価

評価：①有効であった ②どちらかといえば有効であった ③どちらともいえない ④どちらかといえば有効とはいえない ⑤有効とはいえない

番号	基本目標	事業名	評価	意見等
10	2	観光宣伝事業 (商工観光課)	① 5名 ② 3名 ③ 0名 ④ 1名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・京都縦貫自動車道の全線開通及びインバウンドブームといった機会をとらえ、観光プロモーションを積極的に行い、地域の魅力等をPRすることは、国内外からの誘客促進や、地域ブランド力の向上につながるものである。</li> <li>・観光客1人当りの消費単価を上げる仕組みづくりを検討し、取組を進めていくことが課題である。</li> <li>・市営バスのインバウンド客対応にも力をいれて欲しい。</li> <li>・成果も見られ、今後の事業拡大に期待する。</li> <li>・インバウンドニーズが好調であることから、更なる観光情報の発信を充実されたい。</li> </ul>
11	2	観光協会事業 (商工観光課)	① 3名 ② 5名 ③ 0名 ④ 1名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域において、充実した「おもてなし」体制の構築を図ることは、国内外からの観光客の満足度を高めること、地域内に長く滞在してもらうこと、地域での消費を促進すること、観光客のリピータ化を促進すること等のために重要である。</li> <li>・増加しつつある外国人観光客へのPRと、消費単価のアップにつながる工夫が課題である。</li> <li>・成果も見られ、今後の事業拡大に期待する。</li> <li>・南丹市としての観光協会設置で一体化した発言に期待する。</li> </ul>

「地域創生戦略のK P I達成に有効であるか」を評価

評価：①有効であった ②どちらかといえば有効であった ③どちらともいえない ④どちらかといえば有効とはいえない ⑤有効とはいえない

番号	基本目標	事業名	評価	意見等
12	2	観光動態調査事業 (商工観光課)	① 5名 ② 1名 ③ 0名 ④ 3名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の観光戦略の策定、地域ブランド力の形成を図るうえで、地域を取り巻く現状を分析するとともに、現場の意見等を把握することは重要。</li> <li>・広報、観光案内サインなどと連携させながら進めるなど、より効果的な事業展開が必要である。</li> <li>・ビーコンでの動態調査は疑問。</li> <li>・データ分析をしっかりと行ない、今後の集客増加につなげてもらいたい。</li> <li>・SNS、アプリ使用は重要な情報発信ツールであり継続してほしい。</li> </ul>
13	2	山陰本線南丹市広告宣伝事業 (地域振興課)	① 4名 ② 4名 ③ 0名 ④ 1名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の観光戦略の策定、地域ブランド力の形成を図るうえで、地域を取り巻く現状を分析するとともに、現場の声を把握し、より一層の利用拡大につながる効果的な取り組みが必要。</li> <li>・成果は見られるが、寄与度は不明。但し、認知度向上のためには有益と考える。</li> <li>・QRコード利用等はポスターに掲載されているのか。</li> </ul>

「地域創生戦略のK P I達成に有効であるか」を評価

評価：①有効であった ②どちらかといえば有効であった ③どちらともいえない ④どちらかといえば有効とはいえない ⑤有効とはいえない

番号	基本目標	事業名	評価	意見等
14	2	各種イベント等開催事業 (日吉支所地域推進課) (美山支所地域推進課)	① 2名 ② 3名 ③ 0名 ④ 2名 ⑤ 1名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予定されたイベントは台風により中止となったが、地域において、いかに充実した「おもてなし」体制の構築を図るかは、国内外からの観光客の満足度を高めること、地域内に長く滞在してもらうこと、地域での消費を促進すること、観光客のリピーター化を促進すること等のために重要な課題であり、事業の継続実施が望まれる。</li> <li>・ 中止でも1,200千円?</li> <li>・ イベントが中止となっており、評価は難しい。しかし、事業自体はイベント継続のため必要と考える。</li> </ul>
15	2	スプリングスひよし彩花菜園整備事業 (日吉支所地域推進課)	① 5名 ② 2名 ③ 0名 ④ 1名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設の整備により鮮度の高い質の良い野菜や地域の特産品を使った加工品をを販売することで、リピーターの獲得と売上げ増加につながっており、今後も、観光・交流の拠点施設として交流人口の拡大につながるような取組が必要である。</li> <li>・ 15,16は同じような事業に見えるが位置づけが違うから担当課が違うのか?</li> <li>・ 地元農家の活性化にも寄与する事業であり、大変有益と考える。</li> </ul>

「地域創生戦略のK P I達成に有効であるか」を評価

評価：①有効であった ②どちらかといえば有効であった ③どちらともいえない ④どちらかといえば有効とはいえない ⑤有効とはいえない

番号	基本目標	事業名	評価	意見等
16	2	農業関連施設整備事業 【道の駅 京都新光悦村】 (農政課)	① 4名 ② 4名 ③ 0名 ④ 1名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備は観光・交流の拠点施設として交流人口の拡大につながる有意義な取組である。</li> <li>・今後、施設の有効利用により地元特産物を使った加工量の増加拡大など、地域の農林業振興につながる取り組みに期待する。</li> <li>・15,16は同じような事業に見えるが位置づけが違うから担当課が違うのか?</li> <li>・工事完了が30年3月末であり、売上への寄与は少なかったが、31年度の売上増加に期待する。</li> </ul>
17	2	農業関連施設整備事業 【八木農村環境公園氷室の郷】 (農政課)	① 2名 ② 6名 ③ 0名 ④ 1名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市農村交流の促進につながる有意義な取組であり、今後、農業体験施設や調理加工施設などと連携した滞在プランの造成など、地域内の消費拡大につながる取組に期待したい。</li> <li>・15,16とも関連するが「道の駅連絡協議会」と連携できているのか。</li> <li>・工事完了が30年2月末であり、売上への寄与は少なかったが、31年度の売上増加に期待する。</li> </ul>

「地域創生戦略のKPI達成に有効であるか」を評価

評価：①有効であった ②どちらかといえば有効であった ③どちらともいえない ④どちらかといえば有効とはいえない ⑤有効とはいえない

番号	基本目標	事業名	評価	意見等
18	2	スポーツ拠点づくり推進事業 (地域振興課) (美山地域推進課)	① 6名 ② 2名 ③ 0名 ④ 1名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元や関係団体等で構成する実行委員会の主催によるトライアスロン大会は、目標を上回る実績を上げ、着実に地域のイベントとして定着しつつある。</li> <li>・今後も本事業により地域の魅力を発信し、交流人口のさらなる拡大につながることを期待したい。</li> <li>・KPIは参加人数の動きにした方が良いかも。</li> <li>・十分な効果が見られる。一日のイベントとするのではなく、競技者が練習等に來れる仕組みを作り、拠点づくりを更に推進して欲しい。</li> <li>・人の流れを増幅する効果があらわれているが、地域の経済波及の効果を高める事も必要と思う。</li> </ul>
19	3	実践型人材育成事業 (定住・企画戦略課)	① 1名 ② 4名 ③ 2名 ④ 2名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創業は、地域経済の活性化、雇用の創出に大きな役割を果たすことから、「新たなしごとの創出」にチャレンジしようとする方を積極的に支援することは、有意義な取組である。</li> <li>・女性ならではの視点による新ビジネスの更なる創出のため、起業に向けた伴奏支援を強化し、着実な起業に結びつけられる事業展開が課題である。</li> <li>・現状の成果は低調であるが、起業は時間が掛かることであり、30年度の成果を見てからの判断としたい。</li> </ul>

「地域創生戦略のK P I達成に有効であるか」を評価

評価：①有効であった ②どちらかといえば有効であった ③どちらともいえない ④どちらかといえば有効とはいえない ⑤有効とはいえない

番号	基本目標	事業名	評価	意見等
20	4	小学校跡施設活用推進事業 (地域振興課)	① 4名 ② 4名 ③ 0名 ④ 1名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校跡地を、バリアフリーの視点を活かして地域振興の拠点として利活用することは有効な取組であり、また、これを運営する地域団体も設立されるなど、計画は順調に進んでいる。</li> <li>・今後も廃校舎を地域拠点施設としていかに効果的な活用を進めていくかは、重要な課題である。</li> <li>・市民提案型交付金との併用ですが、15,258千円には申請6団体のものが全て入っているのか。</li> <li>・地域の活性化に一定の成果が見られる。</li> <li>・地域での活用を期待。</li> <li>・施設改修と維持管理を適切に行われ、地域の活動拠点として地域づくりが前進する事に期待する。</li> </ul>
21	4	小学校跡施設管理費 (地域振興課)	① 3名 ② 4名 ③ 1名 ④ 1名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校跡地を、バリアフリーの視点を活かして地域振興の拠点として利活用することは有効な取組であり、また、これを運営する地域団体も設立されるなど、計画は順調に進んでいる。</li> <li>・今後も廃校舎を地域拠点施設としていかに効果的な活用を進めていくかは、重要な課題である。</li> <li>・地域活性化センターの取り組みが知りたい。</li> <li>・地域の活性化に一定の成果が見られる。</li> <li>・地域での活用を期待。</li> <li>・地域の活動拠点となり、交流や活動が更に向上する事に期待する。</li> </ul>

「地域創生戦略のK P I達成に有効であるか」を評価

評価：①有効であった ②どちらかといえば有効であった ③どちらともいえない ④どちらかといえば有効とはいえない ⑤有効とはいえない

番号	基本目標	事業名	評価	意見等
22	4	集落活性化支援事業 (地域振興課)	① 2名 ② 4名 ③ 2名 ④ 1名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集落支援員などによる地域の課題分析や住民の話し合いの推進などにより、地域資源を活用した新たな取り組みをきめ細かく支援する事業として有効である。</li> <li>・一方、過疎化・高齢化が進行した地域では、周辺地域や外部団体との協働や地域リーダーの育成、移住促進施策と連携した交流人口の拡大等を府市連携のもと推進するなどの展開も必要と考える。</li> <li>・激変緩和事業とは？</li> <li>・少子高齢化、過疎化が各地区で進むなか、将来にわたってどのように継続、発展させていくのか、との視点も必要ではないか。</li> <li>・過疎地域の活性化への支援は必要であり、一定の成果は見られた。</li> </ul>
23	4	障害者就労支援ネットワーク運営事業 (社会福祉課)	① 6名 ② 2名 ③ 0名 ④ 1名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワーク会議を中心に、着実に受発注情報の収集や提供等の活動が強化されてきている。今後、工賃単価アップに向け、さらなる魅力ある商品開発や販路拡大が必要である。</li> <li>・障がい者就労支援は必要。</li> </ul>

「地域創生戦略のK P I達成に有効であるか」を評価

評価：①有効であった ②どちらかといえば有効であった ③どちらともいえない ④どちらかといえば有効とはいえない ⑤有効とはいえない

番号	基本目標	事業名	評価	意見等
24	4	障害者団体活動支援事業 (社会福祉課)	① 5名 ② 3名 ③ 0名 ④ 1名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員の減少や高齢化などにより活動基盤が弱まってきている障がい者の当事者団体や支援団体に対して、適切な助成が行われており、障がい者の社会参加が図られている。今後も、団体ニーズに応じた効果的かつ継続した支援が期待される。</li> <li>・障がい者支援団体の活動支援は必要。</li> </ul>
25	4	特別支援教育推進事業 (学校教育課)	① 5名 ② 3名 ③ 0名 ④ 1名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・京都府教育委員会として「特別支援教育充実事業」を実施。発達障害を含む通常の学級に在籍する特別な支援を要する児童生徒への支援体制を整備し、効率的・効果的な教育的支援を行っている。 ※南丹市実績 (H29)市立小中学校4校へ非常勤講師を配置</li> <li>・市事業との相乗効果も高くK P I指標も達成されており、現在の取組を継続されたい。今後は、校種間の支援策の連携方法が課題と考える。</li> <li>・支援が必要な児童・生徒の教育環境の充実は重要と思う。</li> </ul>

「地域創生戦略のK P I達成に有効であるか」を評価

評価：①有効であった ②どちらかといえば有効であった ③どちらともいえない ④どちらかといえば有効とはいえない ⑤有効とはいえない

番号	基本目標	事業名	評価	意見等
26	4	間伐材出材奨励事業 (農林整備課)	① 6名 ② 2名 ③ 0名 ④ 1名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木材価格の低迷が長期化する中、搬出費用への助成により、林家の間伐実施の意欲を持続させ、災害に強い森林が整備された。今後も、当事業を継続して実施するよう期待する。</li> <li>・事業としては良いが、㎡ 300円の補助は少ないのでは…</li> <li>・間伐促進に寄与していると思われる。</li> </ul>
27	4	森の京都推進事業 (定住・企画戦略課)	① 6名 ② 2名 ③ 0名 ④ 1名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特産品や地域の魅力が出品される道の駅等を会場に、目標を上回る事業を実施されたところであるが、今後もこうした地域住民を巻き込んだ事業を行うことにより、交流人口の拡大にとどまらず、地域に魅力を感じた人の定住促進につながるような取組を期待したい。</li> <li>・「森の京都」ブランドの付加価値向上を図ることで、南丹市の知名度、認知度を上げることができ、成果は見られたと思う。</li> <li>・広域であり南丹市にどれだけ効果があるのか。</li> </ul>

「地域創生戦略のK P I達成に有効であるか」を評価

評価：①有効であった ②どちらかといえば有効であった ③どちらともいえない ④どちらかといえば有効とはいえない ⑤有効とはいえない

番号	基本目標	事業名	評価	意見等
<p>全体</p>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業評価調書の記載の内容の精度(未記入)がどうかと思うものがある。</li> <li>・ 昨年あった子育て支援、食育等の事業がないのが残念です。</li> <li>・ 事業評価調書のKPI(設定数値が疑問なものもあるので)だけでは事業内容が掴めない。投資額とのバランスもある。</li> <li>・ 地方の人口減対策と始まった地方創生事業も実効性が問題である。</li> <li>・ 南丹市においても事業費の実施効果が問題である。</li> <li>・ もっと事業費を集中的に使う道を考えるべきである。</li> <li>・ 中途半端な事業に経費を毎年費しているが本来の効果が上がるとは考えられず、新規定住者（直接人口増）の集中的な事業に経費の使い道を考えて頂きたい。</li> </ul>